

SDGsの取り組み

富士電機の企業活動とSDGs

SDGsは、経済成長と社会・環境課題の両立を目指すものであり、富士電機の「経営理念」「経営方針」、そしてエネルギー・環境事業は、こうした時代の要請と合致するものです。

当社は、経営理念体系の実践を通じた持続可能な社会の実現への貢献という考えを踏まえ、社員の具体的な行動指針として「企業行動基準」を定めています。2019年6月、こうした富士電機の目指す姿への取り組みを強化するため、「企業行動基準」の改定を行いました。

今回の改定は、SDGsをはじめとする国際社会の共通目標や規範への対応の考え方を明確に社内外へ示し、取り組みを推進していくことにより、当社の持続的成長企業としての価値向上を目指すものです。

SDGsの重点目標

2018年度、当社は事業活動で貢献するSDGs重点目標の設定に取り組みました。当社の4事業5セグメントの区分ごとに、創出する価値とSDGsのターゲットへの貢献の関連性を検証し、5つの重点目標を設定しました。加えて、経営基盤強化の取り組みとSDGsの関連性についても検証し、企業活動全体で取り組むSDGs目標として9つのSDGs目標を設定しました。

SDGs 5つの重点目標への貢献例	
	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの拡大 エネルギー効率の改善
	<ul style="list-style-type: none"> 産業プロセスにおけるCO₂排出量削減 社会・産業インフラの強靭化
	<ul style="list-style-type: none"> 都市と居住地におけるエネルギーなどの基本的サービスの提供 持続可能な輸送システム
	<ul style="list-style-type: none"> 天然資源の効率的な利用 化学物質・廃棄物の適正管理、放出の削減
	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減に貢献する製品提供による気候変動対策への貢献

今後のSDGs貢献の取り組みの考え方

富士電機のSDGs貢献の考え方の社内啓発を継続して実施するとともに、事業活動による環境側面での取り組み、ならびに情報発信は、当社「環境ビジョン2050」をベースに行っていきます。

また、2020年度以降は、当社の事業を通じた社会・経済側面におけるSDGs達成への貢献の評価について、QOL*などの多角的な視点での検討に着手していきます。

*QOL: Quality of Life(生活の質)

